

# 「わかる」「できる」「楽しい」を 実感しながら、進んで運動に取り組む 児童の育成

## 大分県臼杵市立市浜小学校

全校児童数	437名(男子232名 女子205名)		
全クラス数	15	教職員数	35名
体育専科教員訪問学校数			4校
訪問校	野津小・上北小・下ノ江小・佐志生小		
体育専科教員名		安東 友美	

### Plan：取組時の課題と計画

#### 1 取組時の課題

##### ◆昨年度の体力運動能力調査の結果より

走力・投力に課題

##### ◆学校評価の結果より

前年度2学期「運動が好き」と答えた児童は88%  
運動にかかわる態度の2極化  
→運動への愛好度を高める。  
肥満率が高い。  
→生活習慣の改善。

#### 2 取組の計画

- (1) 「わかる」「できる」「楽しい」を実感できる体育学習の充実
  - ①つきたい力の明確化
  - ②みんなが楽しめる授業の工夫
  - ③場の工夫
- (2) 教職員体育研修の実施
  - ①臼杵市体力向上会議において実践の交流
  - ②訪問授業を通じた実践の交流
  - ③校内体育研修の実施
- (3) 体育的環境の充実

### Do：実践内容

#### 1 体育学習の充実

##### (1) つきたい力を明確化

- ①単元全体の流れの中で、1時間ごとのつきたい力(めあて)を板書に位置付け、明確にした。
- ②運動のポイントを提示し、何のための活動なのかを意識させるとともにワークシートで振り返る際の手立てとした。

##### (2) みんなが楽しめる授業の工夫

- ①みんなが活躍できるルール of 工夫を行った。
- ②恐怖感や苦手意識の軽減について
  - ・授業の最初に主運動につながる運動の場を設定し、基礎感覚を養った。
  - ・柔らかいボールや跳び箱を活用し、怖さがなくなる動きのポイントを教えることで恐怖感を軽減した。

##### (3) 場の工夫

- ①ポイントを見つける場や自分に合ったコーナーを選んで練習できる場を設定した。
- ③ペア・グループ活動の場では、見る視点をはっきりさせ、見合い教え合いを行った。

### 2 市全体に実践を広げる取り組み

#### (1) 臼杵市体力向上会議及び授業公開

市内教職員を対象に取り組みを紹介し、実践を広げた。

第1回：体力テストのポイント指導→中止

第2回：授業公開(小学校)台上前転→安東

第3回：授業公開(中学校)

第4回：まとめ・重点課題への対策

#### (2) 訪問校授業

1～6年生を対象におすすめの教具や教材の紹介を行い、授業の参考となるように努めた。

#### (3) 校内体育研修

第1回：コロナ禍でも接触せずにできる運動遊び

第2回：自主公開授業(高跳び)

### 3 体育的環境の工夫

- ・休校中に家庭でできる運動遊びの紹介
- ・鉄棒コーナー・ドッジボールコート・ストラックアウトコーナー・レーザービーム・ジャンピングボード等の設置
- ・リズム跳び(短縄)の紹介と各校へのCD配布

### ●工夫したこと(&苦労したこと)

#### ICTの活用

- ・体育館用のモニターの設置とipadを活用することで思考を深める手立てとした。
- ・NHK「はりきり体育ノ介」・遅延再生アプリ「はなまるフォーム」の活用はわかりやすく、意欲を高める手立てとなった。

### Check：取組の成果

学校評価アンケートでは、「運動のやり方がわかった」と答えた児童は昨年度の95%から96%となった。「体育の授業改善に取り組んでいる」と答えた教職員は75%から86%となっており、1学期より授業改善を意識して取り組んでいる。

### Action：今後の課題

- ①外遊びなど運動に触れる機会の充実
- ②臼杵市全体で走力の改善に向けとりくむ。
- ③スクリーンタイムを含めた生活習慣の改善が必要。

### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

4月の授業開きでは「みんなで伸びる」ことを確認している。学級経営と絡めながら担任の先生と一緒に指導することができた。

自分の技能に応じて選べる場を設定



思考判断を深める活動（話し合い・アドバイスコーナー）



ボール運動の教材・ルールの工夫

めあてやポイントを意識した板書の工夫



用具の工夫

運動の基礎感覚習得の場



ICT の活用

体力向上会議公開授業

